

さいたま市立上大久保中学校 第1回 学校運営協議会 議事録

日 時：10:00

場 所：上大久保中会議室

日 時：令和5年6月21日(水)

場 所：上大久保中学校会議室

参加者：高柳裕美 様 市原重行 様 南 崇子 様

目黒良作 様 飯島政範 様 鈴木麻子 様

校長 教頭 紺野達郎（学校地域連携C） 吉野優花（事務主事）

欠席者：井原光太郎 様 田澤 崇 様

次 第 司会：教頭

0 資料確認

1 校長挨拶

2 指定書・委嘱状・任命状の交付（省略）

3 学校運営協議会委員 自己紹介

4 委員長選出：田澤崇様（上大久保中学校PTA会長・青少年育成栄和地区会会長）

副委員長選出：南崇子様（大久保東公民館長）

5 開会宣言：南崇子副委員長

6 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認

高久校長の説明 全会一致で承認

7 学校予算について

吉野優花（事務主事）説明

8 熟議

テーマ「生徒を地域で活躍させるには」

- ・土曜チャレンジスクール（上チャレ）では、生徒がまじめに学習に取り組んでいる。

- ・生徒が地域の活動にでる機会が減っている。

- 青少年育成会からオセロ大会等のボランティア募集を行い、生徒に地域での役割を作ることで、達成感等を高められるようにしていく。

- ・公民館として、夏休みボランティアの募集を行う。また、作品展や文化祭を実施し、中学校の美術部や吹奏楽部等の活動発表の機会を作りたい。また、小学校からの募集もし、小・中一貫教育の活動機会を作る。さらに、今年度は防災講座を実施するので、ぜひ中学生も参加してほしい。活動に楽しさがあることで、参加した生徒の自信や充実感につながるはずだ。

- ・児童センターや図書館を利用している生徒が、明るい挨拶をしているところが良かった。
- ・地域から、学校の様子はほとんど見えない。どうやって中学生と地域がつながるかを考える必要があり。
- ・地域の避難所開設訓練があるが、中学生も参加するように学校からも協力して欲しい。(今年度はテスト前部活動停止期間となっている)
- ・学校から離れた場所では、挨拶ができていない、登下校マナーが良くない。
- ・中学生は「めんどくさい」「失敗したくない」という気持ちが強い時期である。地域のお祭り等も中学生がいないので、部活動単位で参加ができないか。
- ・地域に対して、何ができるか？小学校での競技審判、ゴミ拾いを、部活動などの団体で参加すれば、学校としての参加周知が高まる。
- ・学校、地域だけでなく、保護者からの声掛けも必要である。
- ・防災訓練は、地域の特性もあるので、小・中合わせて地域で訓練できれば。
- ・小学校のスポーツ大会等に手伝いができないか？
→生徒は授業中なので難しいが、教員が手伝うことができる。
- ・小・中学校間のつながりが増やせないか？
→栄和小・大久保東小での合同あいさつ運動等の実施を進めていく。
→小・中一貫教育として9年間を意識した学力向上に向けた取組の検討。

9 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会委員会 令和5年12月19日(月) 於：上大久保中
- ・第3回学校運営協議会委員会 令和6年 3月 7日(水) 於：上大久保中

10 閉会宣言 : 南崇子副委員長